

2021年度 日本木材学会中部支部大会（富山）実施報告

富山県木材研究所・井上靖啓、富山県立大学・岸本崇生

日 時： 2021年11月11日（木）13：00～17：00

場 所： Zoom を用いたオンライン開催

2021年度の日木材学会中部支部大会（富山）は、11月11日（木）に開催されました。新型コロナウイルスの影響が続いていたため、昨年度に引き続き Zoom ミーティングを用いたのオンライン開催となりました。対面での開催ではないため、例年行っていた懇親会や2日目の見学会は当初の段階から中止とし、日程は1日での開催としました。日本木材学会大会で用いられるようなオンラインでのポスター発表のシステムは、支部大会の規模では費用が掛かりすぎること、運営にかかわれる人員に限られることなどを考慮し、ポスター発表は中止とし、すべて口頭発表としました。また、試算の結果、発表要旨集の印刷費などの大会の運営費用も過大とならないことがわかったため、運営費を日本木材学会中部支部からの助成金のみで賄うことを執行部に打診し、その了承が得られたため、大会参加費をすべて無料としました。

東京オリンピックの終了後の新型コロナウイルスの第5波のピークのさなかでの発表申込や参加申込の締め切りとなりましたが、昨年度と同数の24件の口頭発表の申し込みがありました。A会場、B会場の発表件数が同数の12件ずつとなるように、一部の発表者に希望の発表会場の変更をお願いしました。一方、参加申込者数は最終的に61名（うち学生21名）となりました。対面で開催していた一昨年度までと比べると参加申込も発表申込もやや少ない結果となりました。当初、発表要旨集は中部支部の会員にのみ送付するとしていましたが、参加申込者数が想定の範囲内にとどまったため、期限までに参加申し込みがあった全員に郵送等で発表要旨集を送付することができました。

大会当日は、富山県立大学の中央棟9Fの会議室3室を使い、運営を行いました。評議員会終了後の13：00に、岸本の司会で大会が始まりました。まず日本木材学会会長の名古屋大学土川覚教授にご挨拶いただき、3月に開催される木材学会大会の準備状況などもお話しいただきました。その後、岸本から発表に関する注意事項の伝達などを行いました。開会式後、Zoomのブレイクアウトルームに移動し、A会場とB会場に分かれ、各会場12件ずつの口頭発表が行われました。タイマーはZoomの参加者の画面に表示し、操作は学生アルバイトが担当しました。回線が不安定となった発表もありましたが、発表はおおむね順調に進行しました。

16:50からの閉会式は、例年懇親会で行っていただいていた地域功労賞の表彰から始まりました。受賞されたお二人には簡単なご挨拶をいただきました。その後、支部長の名古屋大学山本浩之教授の大会講評に続き、閉会の挨拶を井上が行いました。次に来年度の開催地である長野県を代表して、信州大学細尾佳宏准教授から長野大会のご案内とご挨拶を頂き、大会はすべて

終了となりました。なお、優秀発表賞の発表は、後日、中部支部のホームページ上で行われ、賞状と副賞が郵送されました。なれない運営でしたが、大きなトラブルもなく無事大会を終了することができました。最後に、ご参加いただいた参加者の皆様に感謝申し上げます。

スケジュール

1. 開会式（メインルーム）：13:00~
 - ・会長挨拶（木材学会会長 名大・土川寛）
2. 口頭発表（24件）13:15~
 - ・A会場（ブレイクアウトルーム）12件
 - ・B会場（ブレイクアウトルーム）12件
3. 閉会式（メインルーム）：16:50~
 - ・地域功労賞表彰/大会講評（中部支部長 名大・山本浩之）
 - ・閉会の挨拶（大会運営委員長 富山木研・井上靖啓）
 - ・次期開催案内（信州大・細尾佳宏）

表彰

地域功労賞

氏名 園田 里見

所属 富山県農林水産総合技術センター木材研究所
業績題目 「地域材の構造利用技術の開発と技術普及」

氏名 石原 智佳

所属 岐阜県生活技術研究所
業績題目 「木材の曲木研究と飛騨地域における家具製造業への技術支援」

優秀発表賞

A01 静岡県に植栽されたユリノキの立木および乾燥を行った板材の材質

（静岡森林研セ）○長瀬 亘、（静岡農専大）池田潔彦

A08 木材と木質面材料をつなぐ釘接合部の残留変形

（静大農）○小川 敬多、渡邊 直希、小林 研治

B03 紫夏藤（*Millettia reticulata*）由来縮合型タンニンの構造解析とGTase阻害活性

（岐阜大院自然研）○征矢野 真由、（岐阜大応生）山内恒生、光永 徹

B10 細胞壁形成における応力刺激と応答

（名大院生命農）○吉村 悠輔、吉田 正人、山本 浩之